

## 水晶祭まであと2日！

### ～ 全校朝会で水晶祭実行委員長がみんなに伝えたかった思いを大切に受けとめる ～



今朝の全校朝会の最初に、水晶祭実行委員長から中学生全員へ水晶祭に向けた思いを伝える場が設定されました。水晶祭まであと少しというタイミングで、とても意味のある大切な場だったと思います。

実行委員長がみんなに伝えたかったのは、次のような内容でした。  
「水晶祭のテーマ【刻～消えない思い出】には、『みんなの中にある水晶祭のイメージをより新しくするような印象的なものにしたい』そして、『みんなの胸に深く刻まれて、とてもよい思い出としてずっと消えないで残るものにしたい』という思いがあります。水晶祭まで残り2日しかありません。もう一度皆さん一人一人が気持ちを入れ直して、合唱やクラス発表に頑張っていきましょう。」

今、水晶祭に向けた取り組みを積み重ねてきている中で、中学生一人一人の心の中に、消えない思い出が生まれつつありますか？「水晶祭が終わった瞬間には、絶対に熱い素晴らしい思いが胸にこみ上げる違いはない」という気持ちが生まれつつありますか？

実行委員長があらためて、「一人一人が気持ちを入れ直して、合唱やクラス発表に頑張っていきましょう」と訴えたことを真剣に受けとめて、残された時間にどんな気持ちでどう頑張るかが勝負です。

### ～ 人とのつながりを大切にする中学生 そんな中学生の合唱とつながるブロンズと楯です ～



金賞のブロンズ



特別賞の楯

合唱は、クラスの一人一人の真剣に歌う気持ちがしっかりそろって声が出た時に初めてできあがる、不思議な共同制作物です。声量はもちろん必要ですが、声量だけでは聴く人の心をとらえることはできません。一人一人が心を込めてそれぞれのパートを歌い、その歌声が響き合っただけでクラスのつながりとしてのハーモニーが生まれた時に、聴く人の胸を打つ合唱になるのだと思います。

決して人数は多くないけれど、人とつながることを大切にしてきた中学生です。水晶祭本番の中学生の合唱を楽しみにしています。金賞のブロンズや特別賞はどのクラスに・・・

### ～ 水晶祭2日前の中学生の様子は ～



### 第二中文化祭の「水晶祭」を楽しみにしています！

「水晶山」という標高200Mの石灰岩の山がなくなって数十年になります。現在は、東九州自動車道のインターチェンジになっています。その「水晶」の名前を引き継いでいるのが第二中学校の水晶祭です。

「輝く原石」である水晶のように、一人一人が自分なりの光を放ってくれることを願っています。第二中のすばらしい生徒のみなさんの頑張る様子を楽しみにしています！  
我が母校、第二中学校ばんざい！

第二中学校区に住む一市民より